
第254号

2007年3月22日

日本気象学会

関西支部ニュース

- 関西支部第27期第2回、第3回常任理事会の報告
 - 2006年度関西支部例会・講演会開催の報告
 - 2007年度関西支部理事会・総会・年会の開催
 - 関西支部第29回夏季大学の開催予定
 - 2007年度関西支部例会開催の募集
 - 2007年度関西支部調査研究奨励金受領候補者の募集
 - 年会講演予稿集・例会講演要旨集の販売
 - 既刊行物整理のお知らせ
 - 関西支部ニュースの発行とメールアドレス登録のお願い
 - 住所変更される方へ変更届のお願い
- 〒 540-0008
大阪市中央区大手前4丁目 1-76
大阪合同庁舎第四号館
大阪管区气象台内
日本気象学会関西支部
振替 00980-5-18318
TEL (06)6949-6322
FAX (06)6944-2121

ホームページ <http://www.k3.dion.ne.jp/~msj-knsi/>

E-mail msj-kns@s2.dion.ne.jp

(注：メールアドレスはスパム対策のため全角で記しています。メール送信の際には半角で入力してください。)

○関西支部第27期第2回、第3回常任理事会の報告

第27期第2回常任理事会は2006年10月12日(木)に開催し、以下の議題について討議を行いました。

- ①2006年第28回夏季大学の報告
- ②2006年10月期の人事異動等に伴う役員の交代
- ③2006年度地区例会の取り組み
- ④研究グループ助成のあり方
- ⑤予稿集、テキストの在庫整理

第27期第3回常任理事会は2007年1月17日(水)に開催し、以下の議題について討議を行いました。

- ①2007年第29回夏季大学実行委員会の立ち上げ
- ②2006年度地区例会の開催状況と今後の予定
- ③支部助成の奨励金への一本化に向けて
- ④支部ニュース第254号の発行

なお、議事の詳細については関西支部のホームページにある「関西支部常任理事会議事録のページ (http://www.k3.dion.ne.jp/~msj-knsi/meeting/meeting_log.html)」をご覧ください。

○ 2006 年度関西支部例会・講演会開催の報告

第 1 回例会 (中国地区、岡山大学 環境理工学部で開催)

日本気象学会関西支部 2006 年度第 1 回例会 (中国支部) は 2006 年 11 月 11 日 (土) に、岡山大学環境理工学部で開催された。参加者は約 60 名で、参加機関も広島地方気象台、岡山県環境保健センター、広島県保健環境センター、島根県保健環境科学センター、岡山市、津山市、農業・食品産業技術総合研究機構、高知大学、大阪府立大学、筑波大学、くらしき作陽大学、岡山理科大学、岡山大学と多岐にわたった。また、講演申し込みが 26 件と多数であったため、講演時間が質疑も含めて 12 分と短くなってしまったが、熱心な議論が加藤内蔵進 (岡山大学)、塚本修 (岡山大学)、岩田徹 (岡山大学)、江口一平 (広島地方気象台)、大橋唯太 (岡山理科大学)、山下栄次 (岡山理科大学) 各氏の座長のもとに行われた。ここでの質疑は、とりわけ今回が最初の学会発表であった若手にとって有意義なものであったと思われる。

発表内容を大まかにグループ分けすると、(1) 東シナ海から地域スケールの風・降水現象の観測データと数値実験による解析、(2) 陸域、海洋での二酸化炭素濃度・安定同位体・フラックスの観測、(3) 衛星データによる植生広域解析、(4) 都市・市街地での気温・熱収支、打ち水効果など熱環境の観測と解析、(5) 中国・四国地方の大気環境・降水成分の測定などと真に多彩であった。

一般講演の後、「衛星リモートセンシングは、陸面過程研究に何を与えてくれるか?」と題して、西田 顕郎 氏 (筑波大学) の特別講演が行われた。西田氏は衛星リモートセンシングと地上観測と陸面モデル研究の 3 者の有機的連携を精力的に進めている若手のホープで、リモセンによる日射量 (光合成有効放射量)、植物季節 (フェノロジー) 推定値のフラックス地上観測サイトデータとの比較解析、衛星による土地被覆分類結果と緯度・経度整数値の交点の情景を写真などで記録・交換する趣味のプロジェクトからの情報との比較確認などユニークな研究内容を交えつつ、本分野の最新の研究動向を興味深く話された。

特別講演に引き続き、岡山大学生協食堂に会場を移して懇親会が行われた。懇親会では、若手と熟年会員三十数名の参加を得て、一般講演・特別講演の余韻を引きつつ、議論の輪が広がっていた。

最後に、特別講演をお引き受けいただきました筑波大学西田氏、例会開催に当たりご支援、ご協力を頂いた関係者の皆様に、ここに改めて御礼申し上げます。

(岡山大学 山本 晋)

第 2 回例会 (四国地区、香川大学で開催)

第 2 回例会は、2006 年 11 月 17 日 (金)、香川大学研究交流棟で開催された。例会には、香川大学、岡山大学、高知大学、高松地方気象台、徳島地方気象台等から 53 名の参加者があった。講演は数値シミュレーションや観測データを用いた事例解析、気候学的特性、模擬実験、衛星画像処理など多岐にわたる 16 件が 3 部に分かれて行われた。司会は佐々浩司 (高知大学)、松村伸二 (香川大学)、土屋昭夫 (高松地方気象台) の各会員が努めた。講演時間は討論を含めて 10 分としてあったが、時間の許す限り延長するという方針が進められた結果、1 時間弱予定が繰り下げになるほど活発な討論がなされた。前年千葉修会員より提案のあった例会要旨集の事前配布が今年度より行われたことも活性化に寄与したと思われる。

特別講演は、長らく四国地区理事を務められ 2006 年度で退官される香川大学教育学部の森征洋教授により「局地気象について 一地形と風」と題して行われた。速度変動スペクトルに見られる地域性や、孤島における慣性振動の観測結果、四国周辺に言い伝えられている局地風の紹介やオトシの解析など、同教授の長年の研究成果が明快に解説され、非常に興味深い講演であった。最後に特別講演の司会を務めた大野久雄四国地区理事 (高松地方気象台長) より、例会の総括と挨拶があり、成功裏に例会を終了した。その後香川大学生協にて行われた懇親会には、例会参加者の多くが参加し、講演に関する議論の続きや、森教授を囲んだ歓談が行われた。

本例会の開催にあたり、会場の手配および特別講演をお引き受けいただきました森征洋教授に厚く御礼申し上げますと共に、会場を担当された香川大学と高松地方気象台の皆様をはじめとする関係者の皆様にご支援とご協力を頂き感謝いたします。

(高知大学理学部 佐々浩司)

第3回例会（近畿地区、神戸大学瀧川記念学術交流会館で開催）

第3回例会は海洋気象学会と合同で2007年2月23日神戸大学瀧川記念学術交流会館において開催された。当日は神戸大学をはじめ大学関係者、気象台関係者など約40名の参加者があった。例会は10時から内野修海洋気象学会理事長(神戸海洋気象台)の挨拶で始まり、18題の発表を3つのセッションに分けて山中大学(神戸大学)、香西克俊(神戸大学)、石川裕彦(京都大学)の各会員が座長を務められた。

午前中の第1セッションは主に海洋関係で、神戸大学の航空機搭載合成開口レーダ(Pi-SAR)による船舶及び海面の識別で始まり、三重大学、岡山理科大学、京都大学の台風強風下における波浪の影響など7題の発表があり、午後の第2セッションは気象関係で、大阪管区気象台の2006年8月22日の豊中豪雨、神戸大学の2006年梅雨期に行った京阪神地域で発生する線状降水帯の集中観測の他、徳島地方気象台、イオン情報研究所から6題の発表、休憩を挟んだ第3セッションは再び海洋関係で三重大学の最近の黒潮流路の変動に関する数値実験など3題と神戸海洋気象台の気象庁海洋気象観測船による東経137度線の長期観測結果など2題の発表があった。

発表時間は1題15分であったが、全ての発表に対して活発な質疑応答が行なわれ、ほぼ予定時間の17時過ぎに閉会した。例会終了後には、会館食堂において懇親会が開かれ、大学生を含めた海洋・気象学会員の参加があり、議論と懇談を深めることができた。

例会開催に際し多大なご協力いただいた神戸大学山中教授を始め、海洋気象学会および気象学会関西支部の関係各位に厚く御礼申し上げますと共に、会場の準備・片付けなど神戸大学学生の皆様に感謝申し上げます。

(大阪管区気象台 長澤芳美)

○ 2007年度関西支部理事会・総会・年会の開催

2007年度の関西支部理事会、総会および年会を以下のとおり開催しますので、多数のご参加をお願いします。

開催日：2007年6月23日(土)

場所：大阪府立女性総合センター(ドーンセンター)
〒540-0008 大阪市中央区大手前1丁目3番49号

最寄駅：JR東西線大阪城北詰駅(2号出入口から西へ550m)
京阪・地下鉄谷町線天満橋駅

(1番出口から東へ350m)

電話：06-6910-8500

URL：<http://www.dawncenter.or.jp/top/index.jsp>

会場：理事会……大会議室(11時~12時)

総会・年会……大会議室(13時~17時)



【総会について】

1. 総会提出議題

総会に提出したい議題があれば、4月20日(金)までに関西支部事務局までお知らせください。

2. 総会委任状について

御存知のように総会成立に要する定数が通常会員数の「2分の1」以上という極めて厳しい条件に変わっています。**通常会員は、総会に出席される方も出席されない方も全員、郵送等で委任状を関西支部事務局に提出**していただきますようご協力をお願いします。総会に出席された場合は、総会における意思表示が委任状よりも優先されます。

3. 総会資料について

総会資料は、開催日までに関西支部ホームページでお知らせします。なお、**通常会員には委任状用紙とともに郵送**します。

【年会について】

1. 発表申込締切日 2007 年 4 月 20 日 (金)
2. 原稿締切日 2007 年 5 月 18 日 (金)
3. 発表時間 1 題につき概ね 15 分の予定です。
4. 発表申し込みについて
 - 申込先 (山本真之幹事)
〒611-0011 宇治市五ヶ庄 京都大学生存圏研究所 山本真之 行き
E-mail アドレス : msj-kns@s2.dion.ne.jp
 - 申込方法 下記の書式で、郵便または電子メール (締切日必着) で申し込んで下さい。FAX、電話での申し込みは受け付けておりません。
 - 要旨集用の原稿作成の際は「日本気象学会関西支部予稿集・要旨集原稿作成要領」に従って下さい。原稿作成要領は関西支部ホームページ (<http://www.k3.dion.ne.jp/~msj-knsi/regular/genko.html>) でご覧になれます。ホームページをご覧になれない場合は、申込先にご請求ください。なお、所属は正式名称でお願いします。
 - 要旨集用の原稿は発表申込先と同じ宛先に郵便でお送りください。
 - ビデオおよびスライドでの発表はできません。

日本気象学会関西支部 2007 年度年会発表申込

- ・発表題目 :
- ・氏名(フリガナ)と所属(発表者に*印・研究グループの場合はグループ名も) :
- ・使用機材(OHP、PCプロジェクター) :
- ・代表者氏名(連絡先) :
- ・連絡先住所 : 〒
- ・連絡先電話 : TEL() FAX()
- ・連絡先 E-mail アドレス :

【旅費の助成について】

支部活動の主要な部分を占める例会・年会について、その活性化を図るため、発表者(支部会員のみ)を対象に、下記の「例会・年会旅費助成要領」にもとづいて、旅費の助成を行っています。助成を希望される方は以下の要領で申し込みください。

- 申込先 (常任理事)
〒540-0008 大阪市中央区大手前 4-1-76 大阪合同庁舎第四号館
大阪管区気象台技術部気候・調査課内 日本気象学会関西支部 長澤芳美 行き
E-mail : msj-kns@s2.dion.ne.jp TEL : 06-6949-6321 FAX : 06-6944-2121
- 締切日 それぞれの年会・例会発表申込締切日
- 申込方法 次の書式で、郵便、FAXまたは電子メールで申し込んで下さい。

日本気象学会関西支部 2006 年度年会・例会旅費助成申込

年会または例会 (例会の場合は地区名を含む) :

- ・発表題目 :
- ・氏名(フリガナ)と所属(発表者に*印・研究グループの場合はグループ名も) :

- ・ 旅費(片道)の見積もり：
- ・ 代表者氏名(連絡先)：
- ・ 連絡先住所：〒
- ・ 連絡先電話：TEL() FAX()
- ・ 連絡先 E-mail アドレス：

《例会・年会旅費助成要領》

(目的)

1. 日本気象学会関西支部が開催する例会・年会で発表する会員への旅費の助成を目的とする。

(資格等)

2. 日本気象学会関西支部会員を対象とする。
3. 支給は例会・年会ともに1題の発表につき1名とする。また、助成総額の上限は、例会・年会ともにそれぞれ3万円とする。
4. 個々の支給は、原則として片道旅費が5千円を超えるものを対象とし、上限を1万円として片道旅費を助成する(千円未満は四捨五入)。ただし、応募者が多い場合は減額されることがある。
5. 助成を受けた者は当該年度に限り応募できないものとする。

(手続き)

6. 助成希望者は、発表の申し込み時に、旅費の見積もりとともに事務局に申請するものとする。書式は支部ニュースで知らせる。
7. 常任理事会は助成者を決定するが、応募者が多い場合などには地区理事に調整を依頼する場合がある。

(義務等)

8. 助成を受けた者は、当該例会・年会で発表するものとする。

(雑則)

9. その他必要なことは常任理事会で協議し決定する。

(付則)

この要領は平成13年6月23日から施行する。

○ 関西支部第29回夏季大学の開催予定

関西支部第29回夏季大学の開催にむけて、今年2月26日に第1回実行委員会を開催して8月上旬に京都市において開催する予定で準備を始めました。詳細については今後の「支部ニュース」や『『天気』支部だより』でお知らせします。

○ 2007年度関西支部例会開催の募集

2007年度関西支部例会の開催および開催場所を下記細則により募集します。例会の開催を希望される会員は、各地区理事を通じて支部長宛申し込んでください。申込締切日は4月20日(金)です。

送付先(例会・講演会担当：石川裕彦常任理事)

〒611-0011 宇治市五ヶ庄

京都大学防災研究所 気象水象災害研究部門 石川裕彦 行き

E-mail : msj-kns@s2.dion.ne.jp

《例会開催に関する細則》

(目的)

1. 気象学の研究を盛んにし、その進歩を図り、支部会員相互の情報交換等を図るために例会を開催する。

(開催・開催場所)

2. 開催及び開催場所は、原則として、第3項の開催条件をもとに、第5項の募集により常任理事会において決定する。なお、各地区理事は各地区で少なくとも年1回以上例会を開催するよう努力するものとする。

(開催条件)

3. 要望主体者側でテーマの選定、会場の確保を始めとする例会の運営をすべて行う。但し、必要な場合は、常任理事、地区理事の支援を求めることが出来る。

なお、講演の申込み受け、予稿集の作成、配布、学会員への周知（支部ニュース）は事務局で行い、運営経費として2万円を支部が負担する。

(開催回数)

4. 開催総数は年に最高5回までとする。

(要望手続き)

5. 開催、開催場所の要望については、毎年募集（支部ニュース）することとし、各地区理事を通じて支部長あてに申込むものとする。
6. 支部長は、前項の要望を受けたときは、常任理事会においてその是非を図り、結果を申込み者に通知するものとする。

○ 2007 年度関西支部調査研究奨励金受領候補者の募集

今回の募集は2005年、2006年度ともに奨励金授与者がありませんでしたので2007年度も募集するものです。奨励金受領者は会員の推薦に基づいて常任理事会で選考され、6万円の奨励金が授与されます。関西支部に所属する会員で、調査・研究を精力的に行っている人や学校教育を通じて気象学の知識普及に努力されている人などで、研究環境にあまり恵まれていない人を推薦していただくようお願いします。なお、締切日は4月21日（金）です。

推薦はA4判用紙に以下の事項を記入のうえ事務局まで送付してください。

1. 受領候補者の氏名、印、生年月日、勤務先及び連絡先（住所と電話番号）
2. 研究題目、内容
3. 受領候補者の略歴
4. 推薦者の氏名、印、勤務先及び連絡先

○ 年会講演予稿集・例会講演要旨集の販売

2007年度に関西支部が発行する刊行物の購入には年間購読予約が便利でお得です。年会購読予約をされると、本代が2割引（通常1冊600円のところ480円）となるほか、発行のたびに速やかにお手元にお届けしますので、どうぞご利用ください。申込締切日は4月20日（金）です。

- 1 お届けする刊行物 : 年会講演予稿集（1冊）、例会講演要旨集（3冊）の計4冊
- 2 年間購読予約の方法 : 次の様式により事務局へお申し込みください。
- 3 年間購読予約料金 : 郵送の場合2,760円（送料込み）、事務局手渡しの場合1,920円
- 4 支払方法 : 第1回配本時に同封する郵便振替用紙によりお支払いください。

日本気象学会関西支部年間購読申込書

申し込み部数 _____ 部

・氏名または団体名 :

